

事業コード	H19-建-再-5		区 分	国庫補助 県単独
事業名	火山砂防事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	床固工		班 名	傾斜地保全・砂防班 (tel) 018-860-2532
路線名等	白雪川		担当課長名	河川砂防課長 萩野 敏明
箇所名	にかほ市象潟町大森		担当者名	主幹(兼)班長 荒木 洋
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	03	施策名	災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実
	指標コード	05	施策目標(指標)名	土砂災害危険箇所整備率

1. 事業の概要

事業期間	H10 ~ H20 (11年)		総事業費	15.8億円	国庫補助率	5.5/10
事業規模	砂防えん堤工1基 床固工4基					
事業の立案に至る背景	白雪川は標高2,236mの鳥海山を源とする流域をもち、にかほ市へ流下する2級河川である。鳥海山では昭和49年に噴火した際に融雪型火山泥流が発生しており、下流域には集落農地、工場といった地元基幹産業の基盤のほか、JR羽越本線や一般国道7号などの交通の要衝が保全対象となっている。こうした背景から昭和初期より砂防施設を一連計画を以て整備してきたが、土砂の捕捉能力が低下してきており、中流域の河床で径2~3mの巨石が堆積している。当河川のような急流河川では巨石が土石流とともに流下し、重要交通網や生活基盤の寸断を伴った人的・経済的被害は計り知れないものとなることから、砂防施設整備をもって土砂災害から地域住民の生命・財産を保全するものである。					
事業目的	<p>【主たる目的】 砂防施設を配置することにより、流出土砂による被害を未然に防止し、土砂災害から住民の生命・財産を守る。</p> <p>【保全対象】 人家495戸、耕地516ha、JR羽越本線1,351m、国道7号1,769m、県道市道71,367m、郵便局公民館等15棟</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		1,578,200	1,578,200	0	
	経費内訳	工事費	1,296,800	1,296,800	0	
		用補費	51,100	51,100	0	
		その他	230,300	230,300	0	
	財源内訳	国庫補助	868,000	868,000	0	
		県債	639,200	639,200	0	
その他		0	0	0		
一般財源		71,000	71,000	0		
事業内容	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償			H18継続評価時より、事業費の変更はありません。	
事業の進捗状況	全体計画 平成18年度末投資額 進捗率		15.78億円 14.65億円 92.8%			
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	「あきた21総合計画」第3期実施計画において、「災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実」の施策として位置づけられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	流域に鳥海山麓を背負っているため常時水量が多い事から、床固工およびえん堤工の施工は通常に比べ作業工程が複雑であるため、通常の砂防工事に比して長期化せざるを得ない状況にある。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率				
	指標式	概成箇所数 / 危険箇所数				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	24.2 %		データ等の出典	危険箇所調査結果	
	実績値 b	22.3 %				
達成率 b/a	92.1 %		把握の時期	平成19年3月		

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	特になし			
	指摘事項への対応			
	特になし			

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<p>下流域には人家495戸や羽越本線、国道7号等の地域の基幹ネットワークを含む多くの公共施設を保全対象として有しており、流域内には巨石を含む多量の土砂が堆積していることから、今後の集中豪雨により土石流災害が発生し、甚大な被害となることが予想されている。</p> <p>このようなことから、地元からは砂防設備設置の要望があげられており対策の必要は高い。</p>	20点
緊 急 性	<p>上流部の砂防えん堤等既存施設は満砂に近い状態であり、溪流内では未だ巨石を含む土砂が大量に生産され下流へと流下しており、豪雨氾濫時には土石流が発生する危険性が高い。</p> <p>これらが下流域の農地・集落・工場などの生活基盤へ流出した場合、重要交通網も寸断されるなど甚大な被害が予想されることから、事業の早期完成が必要である。</p>	10点
有 効 性	<p>手段の妥当性 火山砂防事業は砂防法により都道府県知事が行うものとして位置づけられている。また、被害想定範囲に係る人家および公共施設すべての集団移転等の代替案の実現性は極めて低い。</p> <p>整備効果 対策により保全対象である多数の人家や公共施設の保全を図ることができ有効性は高い。</p>	10点
効 率 性	<p>費用対効果 費用対効果は1.52であり、効率性は高い。</p> <p>コスト縮減等の取り組み状況 現地発生 of 巨石を用いた粗石コンクリート工法及び再生材の利用により、コスト縮減に積極的に取り組んでいる。</p>	30点
熟 度	<p>地域の状況 地元住民及びにかほ市との合意形成が図られており、順調に事業が推進している。</p> <p>事業進捗の見込み 平成20年度の完成に向けて事業を進捗させている。</p> <p>環境対策 床固工における魚道設置や、現場発生 of 玉石張り護岸などの対策を講じている。</p>	20点
判 定	<p>ランク ()</p> <p>地元からの要望が高く「必要性」「有効性」「効率性」等から事業の重要性は高く評価できる。</p>	90点
総 合 評 価	<p>継続</p> <p>改善して継続</p> <p>見直し</p> <p>中止</p> <p>事業継続は妥当である。</p>	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード(H19-建-再-5)
箇所名 (にかほ市象潟町大森)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計		20		
緊急性	危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
	斜面、溪流等の危険度	若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計		10		
有効性	災害発生時の影響	変化なしまたは増加している	10	10	
	保全対象数の変化	若干減少している(80%以上)	5		
		非常に減少している(80%未満)	0		
	計		10		
効率性	事業の効率性・進捗状況				
	費用便益分析(B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
コスト縮減計画	具体的なコスト縮減計画がある	10	10		
	具体的な計画はないが、検討中である	5			
	コスト縮減計画無し	0			
計		30	30		
熟度	地元の協力状況				
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している(100%以上)	10	10	
		概ね計画どおり進捗している(70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている(70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	10	用地、補償物件等
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
課題解決の見込みなし又は事業が停滞している		0			
計		30	20		
合計			100	90	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		